

#### 4. 学生受講結果アンケート(学修成果の可視化)、教育委員会との連携、体験活動・ボランティア(地域連携)等

##### (1) 学生受講結果アンケートの活用

2018年度より大学の方針として、前後期全授業について「学生受講結果アンケート」を実施している。教職課程においても各教員が集計結果を基に、「授業運営の教員振り返り」を行い次年度に向けて授業改善に役立てている。

##### (2) 教育委員会等との連携等

教育実習の実施に関して、学校現場の教員並びに愛知県教育委員会及び名古屋市教育委員会との打ち合わせ会に出席し、実習についての要望・改善点の意見交換を行ない、教職課程委員会等で報告し学内での共通認識に努めている。

また、愛知県公立学校教員採用選考試験教職担当者説明会に参加して、大学で求められる教育に関する情報提供を受けたり、必要に応じ大学の教員が教育委員会へ訪問し情報収集や相談等を行ったりしている。更に教員採用試験に向けた学生に対し、各教育委員会の担当者を招き教育採用試験の学内説明会を開催している。

##### (3) 学校現場における体験活動・ボランティア活動等

###### ① 学校教育インターンシップ

教員免許状取得予定の希望者に対し、特定の小学校との連携や名古屋教職インターンシップ等、学校現場での体験学習を実施している。体験内容については、受入れ学校と担当教員が相互協議のうえ決めている。(学級活動、総合的な学習、授業の補助などをするとともに、児童集会活動、学校行事への参加等)また、日進市内の小学校と連携し、小学校・養護・栄養教諭免許状取得予定者が児童・学校理解及び児童支援の方法を習得する場を設け、管理栄養学部については一定要件を満たせば演習科目「食と健康のフィールドワーク」の単位として認定している。

###### ② 日進市学校教育支援サポーター配置事業

授業の主体となる日進市教育委員会の定める要綱により、活動内容を規定している。具体的には、日進市内の小学校において、学級活動や総合的な学習、授業の補助などをするとともに、児童集会活動、学校行事などに参加している。また、保健室補助の依頼については、子どもケア専攻学生が積極的に参加をしている。

###### ③ トワイライトスクール

名古屋市教育委員会の委託を受けた事業主の定める要綱により、活動内容を規定している。具体的には、小学校の施設を活用し、参加児童の受入れ、子どものあそびや学び、体験、交流の活動支援、活動の準備や後片付け・ケガの応急処置等地域協力員として参加し活動支援をしている。

###### ④ ボランティア活動

近隣地区の小学校において、学級活動、総合的な学習、授業の補助などをおこなっている。その他の地域においても大学や学生が直接小学校との申し合わせにより、学級活動、総合的な学習、授業の補助を行なうボランティア活動をしている。また、学内の教職センターやサービスラーニングセンターを通して、個別の要望に応じて活動を進めている。